

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 11月 15日 (9:00～ 12:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	人	8人

前回の改善計画	全職員によるミーティングは難しいため、ケアマネジャー、看護師、ケース担当など多職種職員で必要な情報を確認し、他職員へ申し送ることができるようにする。ケース担当が不在である時は、関わった職員が中心となって検討・対応を行いケース担当にきちんと伝え、継続したケアを提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	各職員で必要な情報を確認し他職員へ申し送りを行った。ケース担当が不在である時は、関わった職員が中心となって検討・対応を行いケース担当にきちんと伝えていた。継続したケアを提供した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	2		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		7	1		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前は、事前の情報を共有し利用時には本人家族のニーズ、必要としている支援を行い安全を考えた対応を行っていた。 ・家族のニーズだけではなく本人の状態も考慮し、職員間で協議を行ったうえで利用を開始した。 ・本人が継続して利用できるように興味がある物を提供したりコミュニケーションが取れるように配慮を行った。 ・申し送りやミーティングに参加できない時でも情報ファイルを読み、ケアマネ、関わった職員から情報を得たり、初期観察用紙を活用してサービスを提供した。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制により職員ミーティングや利用前の情報収集が上手くできない時、本人家族の意向、希望が把握できず、職員によってサービスの提供の仕方が違う時がある。 ・ケース担当が率先してケア内容を検討したり必要な申し送りをすることが遅れがちになっていた。又、検討し様子を見る場合、いつまでの対応なのかあいまい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前のミーティングに参加できない職員は情報ファイル、多職種職員から情報をもらう。又、参加できない職員は不明な点がある場合は、管理者、ケアマネに確認する。 ・検討に関しケース担当が主に行い、不在の場合は関わった職員が検討しケース担当に送り周知を行う。又、検討後はモニタリング、評価を行い次につなげていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	5人	人	8人

前回の改善計画

- ・引き続きオンラインツールやYouTubeなどを活用していく。
- ・短期的な興味、楽しみだけではなく本人の目標やゴールを汲み取れるよう意識した関わりを持つ。
- ・本人の目標とリスク、家族支援を含めた対応を話し合いながら考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

オンラインツールやYouTubeなどを活用して興味を持てることを探ることができた。個別での外出の機会や個別でできることを行い、本人の意向を汲み取ることができている機会を持つことができた。目標とリスクについて対応を検討する機会をその時々で持ち、職員で情報共有をすることができていた。「目標」「ゴール」を明確にすることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	7		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	6		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	5		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	2		8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・在宅生活が継続できるようにサービス調整を行い、家族、利用者のニーズのバランスをとった。
- ・個別の外出支援を行い、マンツーマンでゆっくり過ごせる環境を作った。利用者に関わり得た情報をミーティング時 (朝礼、終礼など) に共有し意向に沿えるようにした。個別にできること (畑、干柿、家事仕事など) 本人に合った支援を検討して行ってもらった。
- ・ケアプランを検討し職員間で決まった内容を周知することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

すべての利用者の意向に沿えることができなかった (手のかかる利用者に偏りがちになった)。希望を把握することができない。望まないサービスを提供せざる負えない状況がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・個々で話を聞ける機会を作り (個別外出支援、作業など) 職員との関係性を作り安心して話ができるような環境を作る。
- ・ご利用者様の「～したい」を支援の中で探り、得た情報を職員間で共有しご利用者様の目標やゴールにたどり着けることができるような支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">引き続き業務の見直しとタイムスケジュールの調整を行い、ミーティング時間を確保するよう努める。ミーティングで検討した内容について結論と残された課題を明確にし、対応を継続して実施できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">職員体制とタイムスケジュールを調整しながらミーティング時間をなんとか確保できた。新規利用者への対応や日々の状態変化がある人への対応を明確にするべく検討する時間を確保することが難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			8		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	3		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		8			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ミーティングで情報を共有でき、当日のうちに対応できるように迅速に協議している。ミーティングや当日勤務の職員間は口頭で、他はタブレット端末で申し送り、情報共有できた。体調、気持ちの変化に気づいた時や本人の状況に変化があった時は、状態に合わせた食事、入浴、排泄の介護を情報共有しながら行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">情報不足や認知症状で上手く伝えられないことから「以前の暮らし方」10個は把握できていない。転倒などのリスクを考えすぎて歩行時やトイレ時に過剰な付き添いや支援を行っている。声にならない声を引きだせていない。適切なサービス調整ができていない。新規利用者への対応や日々の状態変化がある人への対応を明確にする為に検討する時間をとることができなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">引き続き業務の見直しとタイムスケジュールの調整を行い、ミーティング時間を確保するよう努める。気持ちや体調の変化に気づいた時に即時的に対応できるよう検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画
・コロナ禍の中でリモートによる交流など新しい形の関わりができたので、次年度も今までの交流を継続しつつ、また新しい事を協議し実行していく。 ・地域行事も再開されてきておりコロナ感染予防を行いながら積極的に参加していく。また地域の方々が施設に来る機会を作っていく。(くつろぎ祭りの再開など)
前回の改善計画に対する取組み結果
・小学校とのリモートでの交流に加え、コロナウイルス感染症の緩和により直接学校に行き交流することができた。また、くつろぎ祭りも3年ぶりに再会し、地域の方々と交流することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	5		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	3		8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	6		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			7	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・小学校とリモートや直接小学校に出向き交流を図ることが出来た。保育園とは敬老会でプレゼントを頂いたり、卒園式に貼り絵を贈った。また運動会の練習を見学に行ったりと徐々に直接的な交流が出来るようになった。 ・くつろぎ祭りを再開することが出来た。 ・個別外出支援で地域のカフェやレストランに行った。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・本人の認知症が進んだり、家族の状況などにより地域との繋がりを保つことが難しい。 ・民生委員や地域資源の把握ができていない。 ・自宅での様子が把握できていない。 ・地域資源への理解不足。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・本人の現在必要と思われる生活資源を把握し、積極的に関係機関と情報交換を行う。 ・送迎時、訪問時などのちょっとした時間での関わりを大事し、利用者の状態や今までの生活歴などの情報を家族から収集し現状の問題点の改善に活かすことが出来るようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5人	3人	人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働しながらご利用者とその家族が住み慣れた地域での生活が続けられるよう地域資源を把握する。 ・複数の職員で協議できるようタイムスケジュールを調整し、悪い変化だけでなく良い変化も含めてその人に合ったサービス内容の見直しや提供を行えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が少ない中、利用者の変化時に協議、カンファレンスを行った。 ・地域資源を把握していたがコロナウイルス感染予防のため、資源の活用ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	7		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	4		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		7	1		8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の変化に気づいた時はミーティングや協議をしてサービス内容の見直しをして柔軟に対応を行った。 ・家族に介護についてのアドバイスや、ニーズに応じたサービス提供を行った。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を上手く活用できていない。 ・本人より家族のニーズが強く課題が多いため優先されがちで、本人本意のサービスではないときがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着いてきたら、地域資源の活用を検討し実施していく。 ・家族のニーズも踏まえながら、本人の意向に出来るだけ添えるよう、担当を交え協議していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

6. 連携・協働

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で地域住民や馴染みの保育園と直接的な関わりができなくても、引き続き工夫しながら出来る範囲で交流が継続できるよう努める。・自治体や地域包括支援センターとの会議等にできるだけ参加し連携が図れるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・コロナウイルス感染症の緩和によりくつろぎ祭りの再開、小学校訪問し交流会が行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?			4	4	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	4	3	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	4	2	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	1	6	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・散歩やドライブ、地域の祭りを見学に出掛けた。・近くの保育所に利用者が作成した貼り絵を贈り、敬老の日には色紙をいただき繋がりを継続できた。・小学校に訪問して交流を行うことが出来た。・地域包括支援センターと情報交換を行い、緊急での利用者受け入れを行った。・3年ぶりにくつろぎ祭りを開催した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・くつろぎのイベントが少なく地域住民との交流が図れていない。・ボランティアの受け入れの再開ができていない。・人員不足で職員体制上外出することが難しい。・くつろぎの地域での位置づけがわかりにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・人材不足でも行える、地域との交流が図れるイベント、ボランティア受け入れ再開、馴染みの保育所とはどのように関わっていくか検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

7. 運営

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	1人	8人

前回の改善計画
・運営推進会議等で地域の方から出た意見等を会議で職員に伝え、運営に活かしていく。 ・参加できる地域活動に参加し、地域の方と交流していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議の結果等を職員に伝えることができなかった。 ・地域の行事や外出することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	2		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	2		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	3	2	8
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			7	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・意向調査やアンケートを実施し運営に活かしている。 ・利用者の受け入れなど大人数でのミーティングは職員体制上難しいが、少数の職員で時間を見つけて協議し、色々な職員の意見を聞くようにしている。 ・地域包括支援センターを介して、地域のNPO団体の活動の手助けを行った。 ・運営推進会議で出た意見等を日々の運営に活かしている。 ・利用者・家族からの意見等を他職員に伝えている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職員体制が整わず、地域の活動に参加できなかった。 ・地域の方から意見や苦情を聞くことができなかった。 ・地域の方々への認知が不十分である。そのため地域の方々との交流がなく相談や意見を聞く場がない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・職員会議を3~4ヶ月おきに開催し、意見等や運営に関する提案を行う機会を作る。 ・地域活動へ参加し、事業所を知ってもらう。 ・地元の小学校と関わることで事業所を知ってもらう。 ・運営推進会議で出た意見等を職員に伝える。または参加してもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・事業所内研修は、研修担当者が資料を作成し職員に周知するなど、コロナ禍での研修方法を引き続き実施する。・感染症が収まりしだい、外部研修に参加できるよう努める。また、オンライン研修の実施を検討し、必要な研修に参加したり、自己学習する機会を検討し、スキルアップができるよう取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・勤務上、参加できる職員はオンライン研修や事業所内の研修に参加した。資料を回覧し、職員に周知をした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		4	3	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	3	3	8
③	地域連絡会に参加していますか			1	7	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・オンライン研修を活用して研修に参加することができた。・職員が個々で研修に参加している。スキルアップに努めてきた。・事業所内研修では資料を回覧したり、施設の全体研修に何度か参加できた。・シフト調整を行いオンライン研修に参加出来るようにした。・利用者に対して適宜協議を行いリスクマネジメントに努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・人手不足で勤務調整が出来ず、研修や地域連絡会に参加できない。・職員が集まるシフトを組む事が困難なため、事業所内研修は実施できていない。・サービスの質の向上やリスクについてはまだ勉強不足である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・事業所内研修は、勤務上可能な時に参加したり、研修担当者が資料を作成し職員に周知する。・感染症が収まりしだい、外部研修に参加できるよう努める。また、オンライン研修を実施し、必要な研修に参加したり、自己学習する機会を検討し、スキルアップができるよう取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 15日 (9:00 ~12:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・権利擁護の研修に参加、虐待防止チェックリストの活用を継続していき、職員個人の意識付けを行う。・定期的に会議を開催し、権利擁護についてきちんとできているか確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・権利擁護の研修に参加、虐待防止チェックリストの活用を行った。・定期的に会議が行えず権利擁護についてきちんとできているか確認できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	4			8
②	虐待は行われていない	3	5			8
③	プライバシーが守られている		8			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	4	2	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・研修等に参加し人権、プライバシー拘束等は日頃から意識して対応している。・暴力行為が見られる利用者に対しては複数の職員で対応し、職員の精神的な負担の軽減を図った。・利用者に他の利用者の情報を聞かれて際も個人情報を意識して対応した。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・少ない職員の中で時間に追われプライバシーが守られない時があるが、守れなかった職員に対し注意し ずらく、リスクの方が大きい。・職員体制が不十分で会議が開催できていない。又、対応が困難利用者の対応に追われ職員に余裕がない。・職員が少なく会議、話し合いを開く余裕がないので職員間で虐待や接遇に対しての意識は統一されてい ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・権利擁護の研修に参加、虐待防止チェック、接遇チェックの活用を継続していく。又、定期的に会議を 開催し、権利擁護についてきちんとできているか確認し、職員個人の意識付けや注意しづらい環境の改 善を行う。

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 県央福祉会	代表者	渡辺 信行	法人・ 事業所 の特徴	保育園事業から介護福祉事業まで福祉を手掛ける法人が運営している事業所である。特別養護老人ホームが母体施設であり、委員会活動や研修等連携を図っている。近くの保育園やボランティアとの交流も積極的に行っている。介護計画には本人の役割や楽しみ、家族としての役割も示して、利用者が住み慣れた地域でこれまでの生活を続けながら自分らしく暮らせるよう、小規模多機能型居宅介護の目的に沿ったケアを提供している。
事業所名	ライフケア くつろぎ	管理者	長谷川悦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	0人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	できることから取り組めるように、計画的に進めていく。又、定期的に進捗状況を確認し実情に合わせて対応していく。ミーティング、会議等で改善が必要な点を明らかにする。	計画的に実行できるように進捗状況を担当、主任、管理者で確認を行っていたが、進みにくい内容もあった。職員体制上で会議があまり開催されずに振り返りや情報の共有がされにくかった。	事業所自己評価の取り組みの説明や書式の変更を行い少しわかりやすくなった。	会議やミーティングの時に自己評価の内容について話し合う機会を作り、よりよいサービスに繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者の情報などを申し送る時の場所や声の大きさに配慮し、プライバシーを守る意識を強く持つ。職員間で注意し合える環境を構築する。	相手の気持ちになり職員は行動を行っていたが適切な対応ではない時に職員が注意し合える環境の整理がまだ必要。	利用者、家族の気持ちになり、利用者が過ごしやすく、家族が安心して預けられる場所を提供してほしい。	定期的に行動評価チェックを行い、職員同士注意しあえる環境を作り利用者、家族が安心してサービスが利用できるようにする。また、ご利用者が安全に過ごせる環境を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	できる限り地域の行事に参加し事業所のアピールを行い、利用者や地域との繋がりを持つ。回覧板やホームページを利用し情報の発信を定期的に行う。	地域へ広報さくら、かわら版などを配ったり、裏館小学校に行っている交流、田島わくわく保育園との手紙、園児の作品、貼り絵のやり取りを行い情報の発信や交流を行った。又、ホームページの更新も行った。	毎年行っている取り組みを継続して地域とのかかわりを持ってほしい。	今まで行ってきた活動（利用者手製の雑巾の寄付、ペットボトルキャップの回収協力など）、保育園・小学校との交流は継続して行う。事業所の活動を発信するかわら版やホームページの更新も引き続き行う。地域活動に参加し交流を図りながら地域との結びつきを深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣の公園や神社、コンビニなどより身近な所に外出し、地域住民と交流できる個別外出支援を行う。	事業所周辺の散歩や買い物は月間の行事として計画し実行できた。地域の行事にも参加した。	できる範囲で散歩、ドライブ、行事、地域交流を行い利用者が気分転換を行えるようにして行ってほしい。	事業所近隣への外出を計画し地域に出向いて交流を図ることは継続する。また地域交流を行いながら相談事業に繋げていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	地域で困っている方、心配な方についての情報を共有し、事業所としての役割を果たせるように情報の発信を積極的に行っていく。	地域の実情や家族の意見又、運営推進会議で出た意見を運営に生かした。又、業務の整理を行ったがまだ不十分である。	今後も情報を共有し意見を反映していってもらいたい。事業所だけでは対応が難しい内容もあると思う。	事業所の取り組みについて理解してもらえるように、日常の業務や工夫して取り組んでいる内容を会議で伝えていく。委員からでた意見は運営に反映していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画（水害、地震、火災）については運営推進会議で説明する。火災想定訓練は、運営推進会議開催日に計画し委員が参加できるように配慮する。	運営推進会議開催日に避難訓練が行えなかったが、地域防災協力員の参加の避難訓練は行えた。又、水害訓練、地震訓練も行い運営推進会議にて報告した。	委員が避難訓練に参加できるように計画してほしい。火災、水害、地震訓練を行い災害の強い施設になってほしい。	火災想定避難訓練（年 2 回）、水害訓練（市対応）、地震訓練は例年通り実施する。委員が避難訓練に参加できるように計画する。

